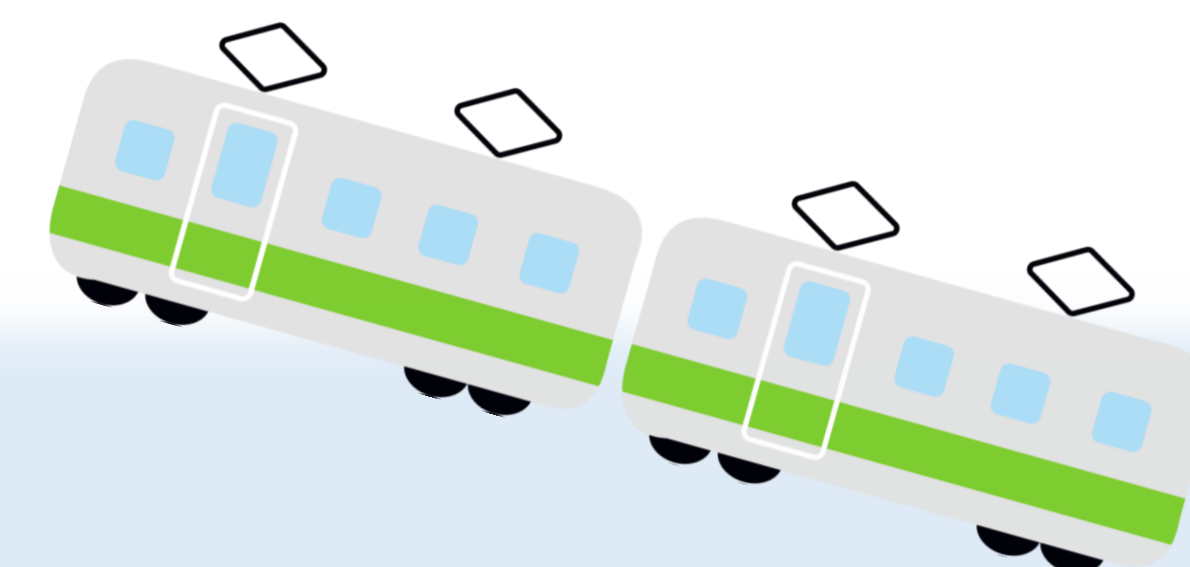
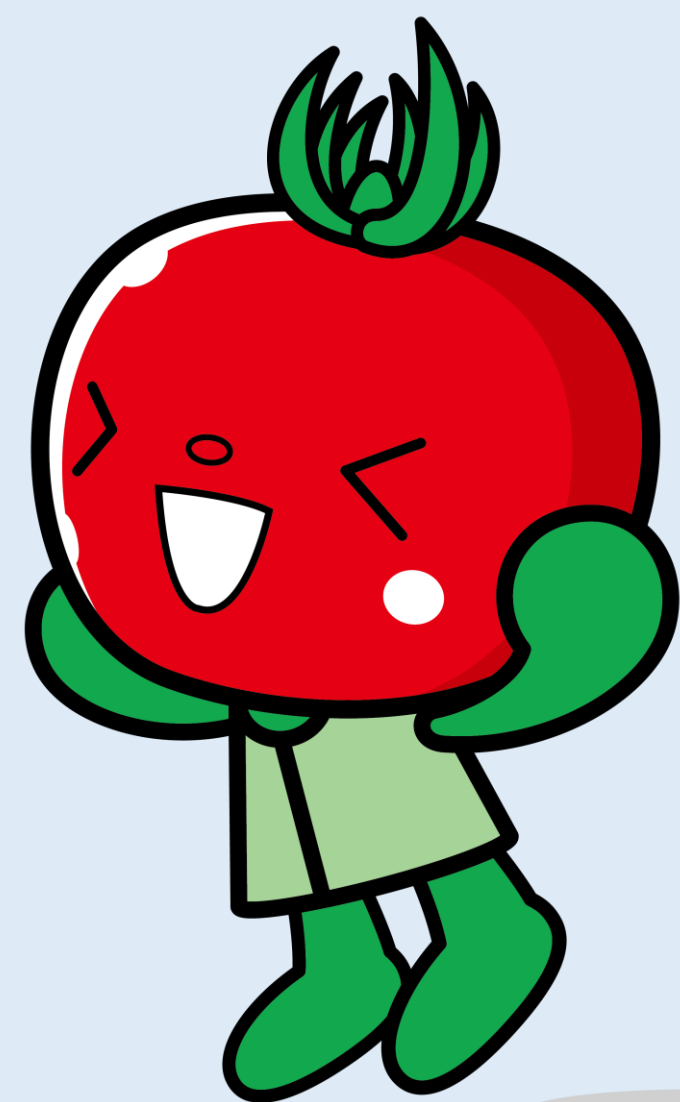


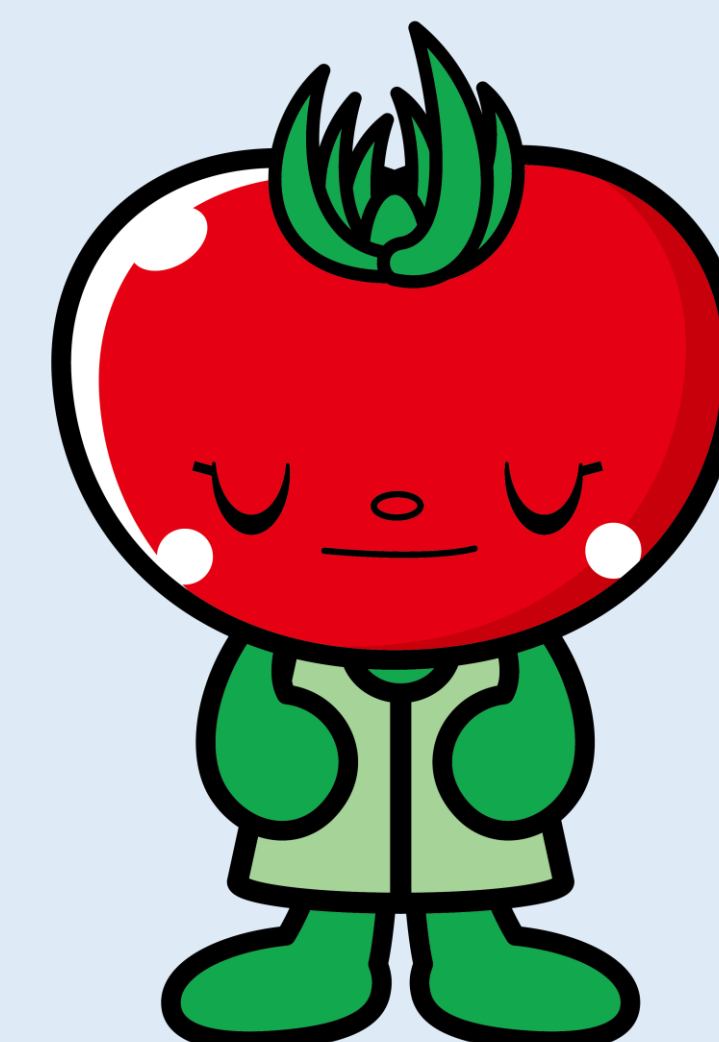


北本市地域公共交通計画 策定に向けた オープンハウス開催中！

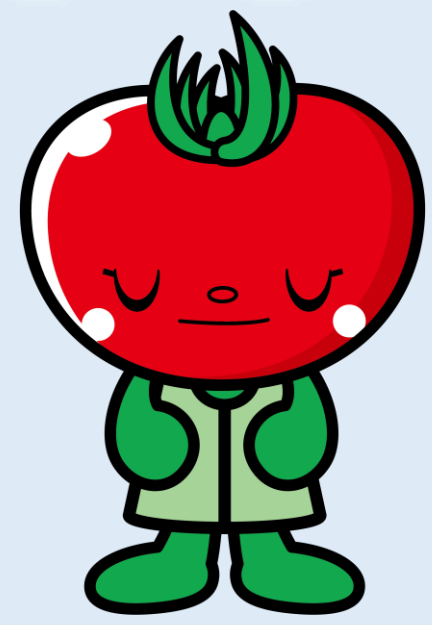
北本市くらし安全課



アンケートにご回答いただいた方には粗品をプレゼント！
※数に限りがございますので、配布終了の際はご容赦ください



北本市地域公共交通計画を策定します！



北本市の都市の現状や今後の公共交通のあり方に関する
パネル展示を実施しています。
ぜひご覧いただき、みなさまのご意見をお聞かせください！

■ 北本市の現況と課題

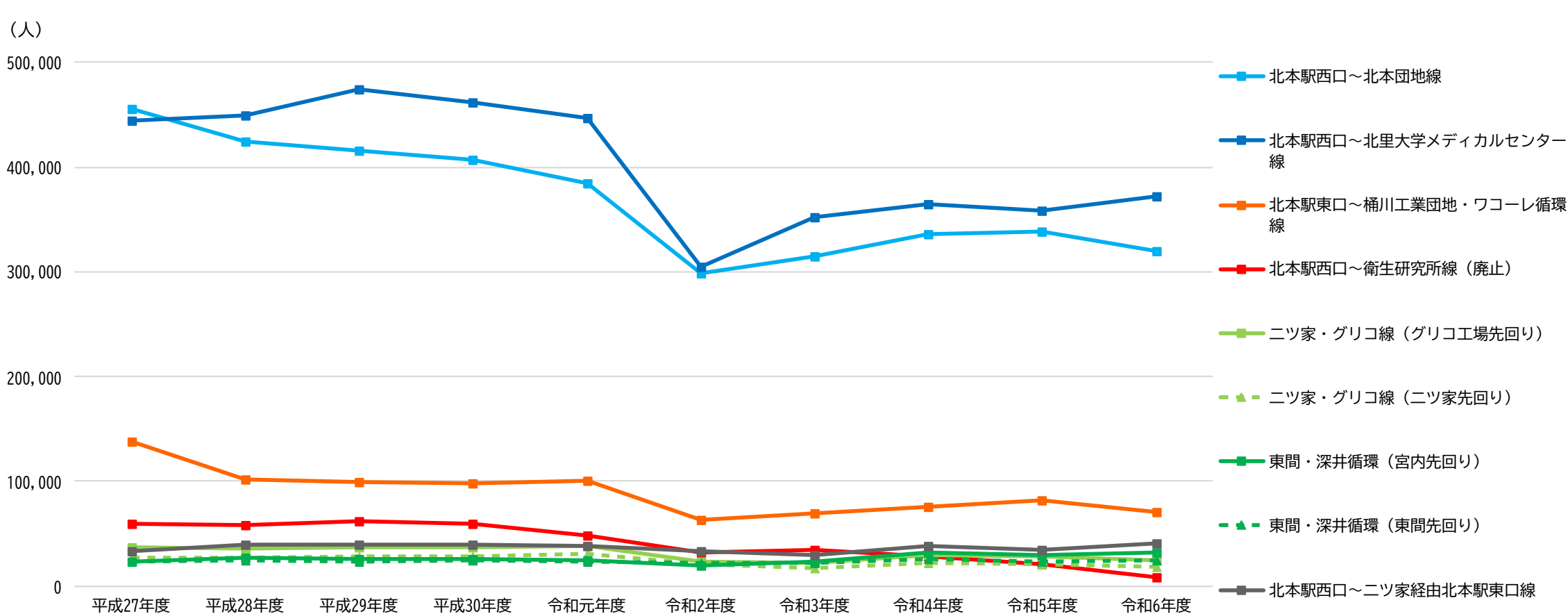
公共交通の運行状況・利用者数

- ◆北本駅を中心にバス路線網が形成されています。
- ◆利用者数は、コロナ禍により大幅に減少したこともあり近年は増加傾向にありますが、コロナ禍前と比較すると減少している状況となっています。
- ◆また、今後人口が減少することにより、バス路線沿線でも人口の減少が見込まれています。

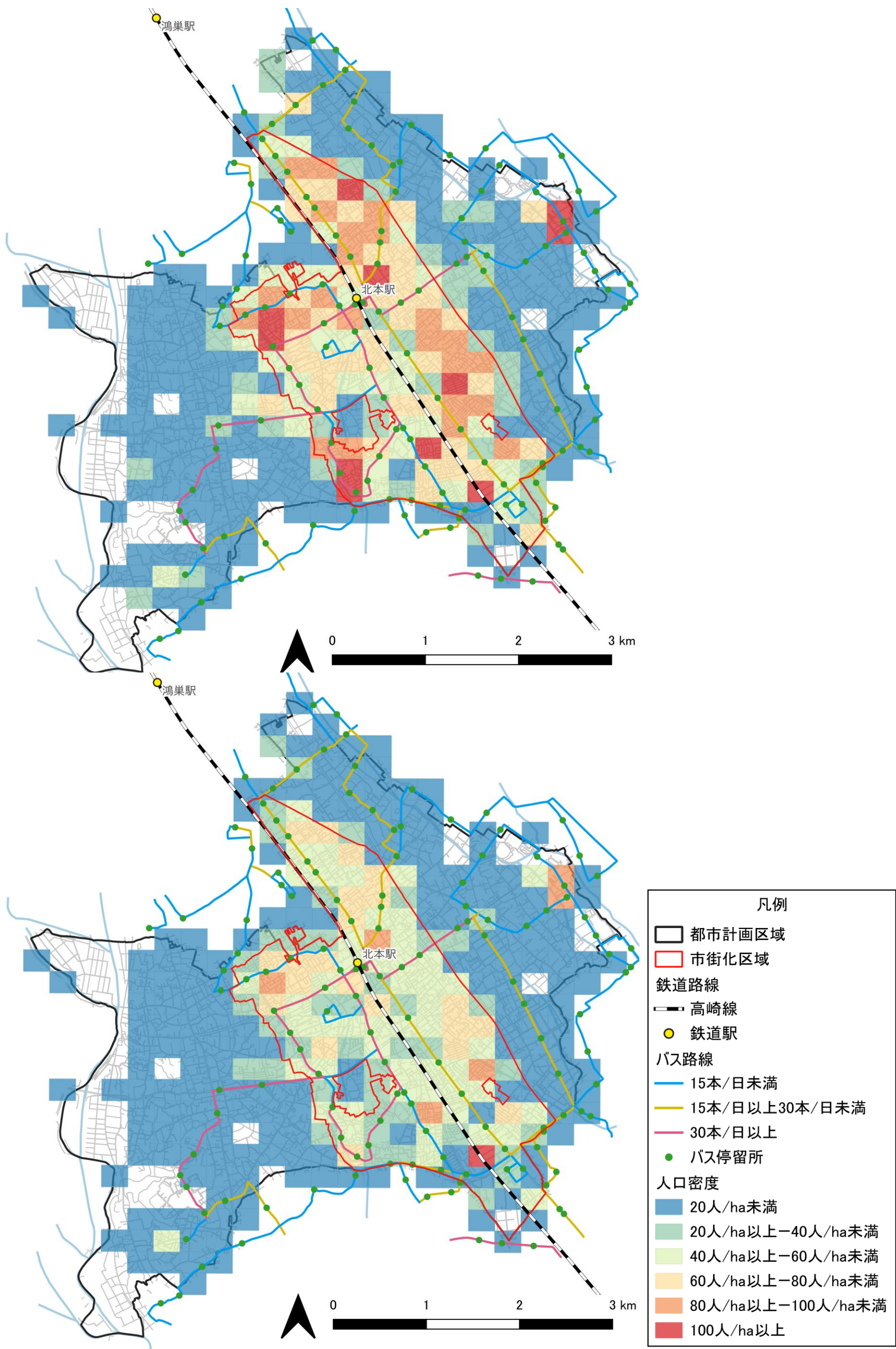
《バス路線図》



《バス路線別の利用者数の推移》



《バス路線と人口密度の推移
（上:2020年、下2045年）》



番号	路線
1	北本団地線
2	北里大学メディカルセンター線
3	桶川工業団地・ワコーレ循環線
4	ニツ家・グリコ線
5	東間・深井循環線
6	北本駅西口～ニツ家経由北本駅東口線
A-1	鴻巣市フラワー号「馬室コース」
A-2	鴻巣市フラワー号「常光コース」
B	桶川駅発北里大学メディカルセンター線
C-1	桶川市内循環バスベにばなGO「西20・21系統」
C-2	桶川市内循環バスベにばなGO「東10・20系統」

今後起こりうること…



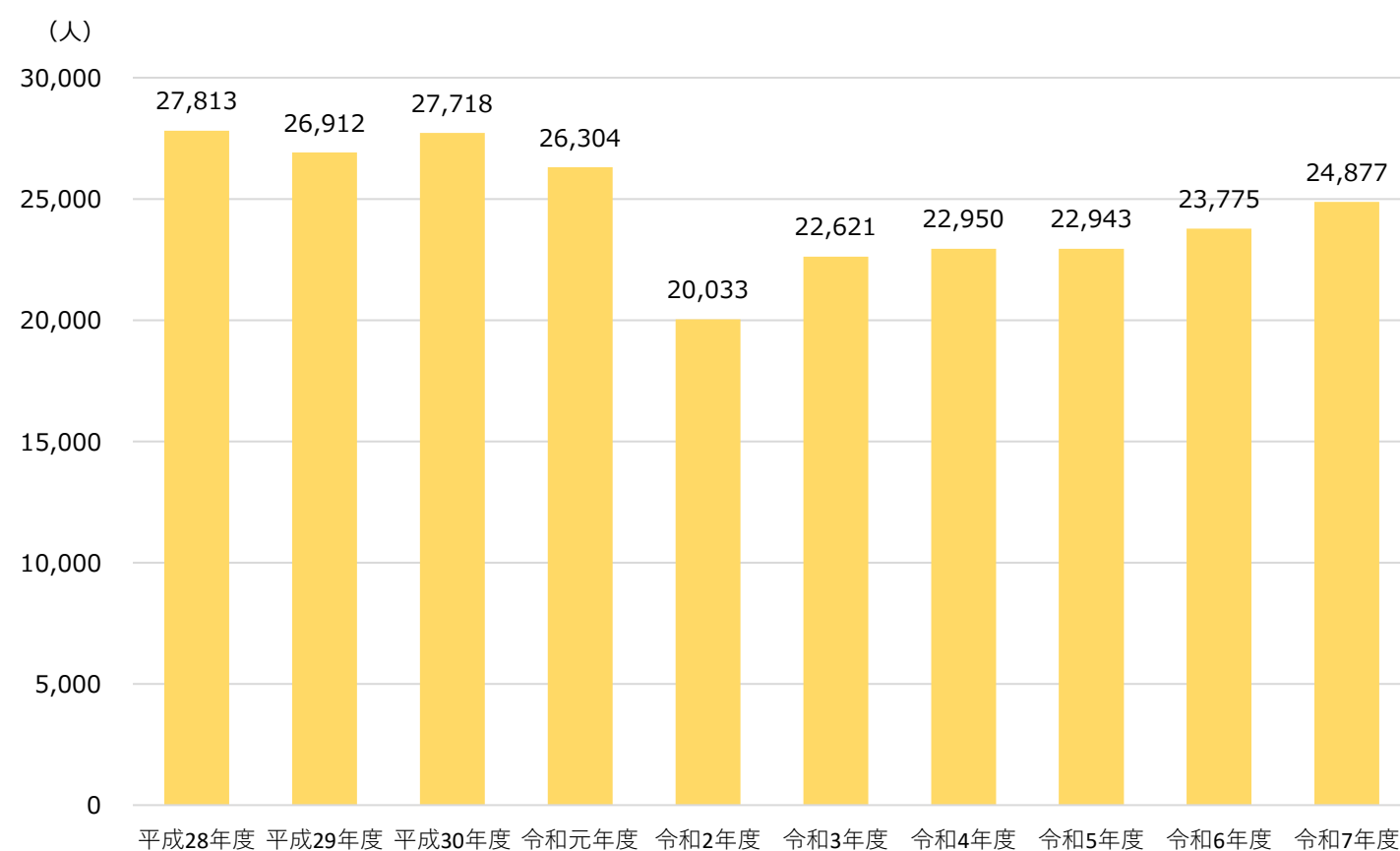
利用者の減少により公共交通の廃止や減便等が行われ、公共交通の利便性が低下する可能性が想定されます。

⇒地域の貴重な資源である既存の路線バスを維持していくための取組が求められます。

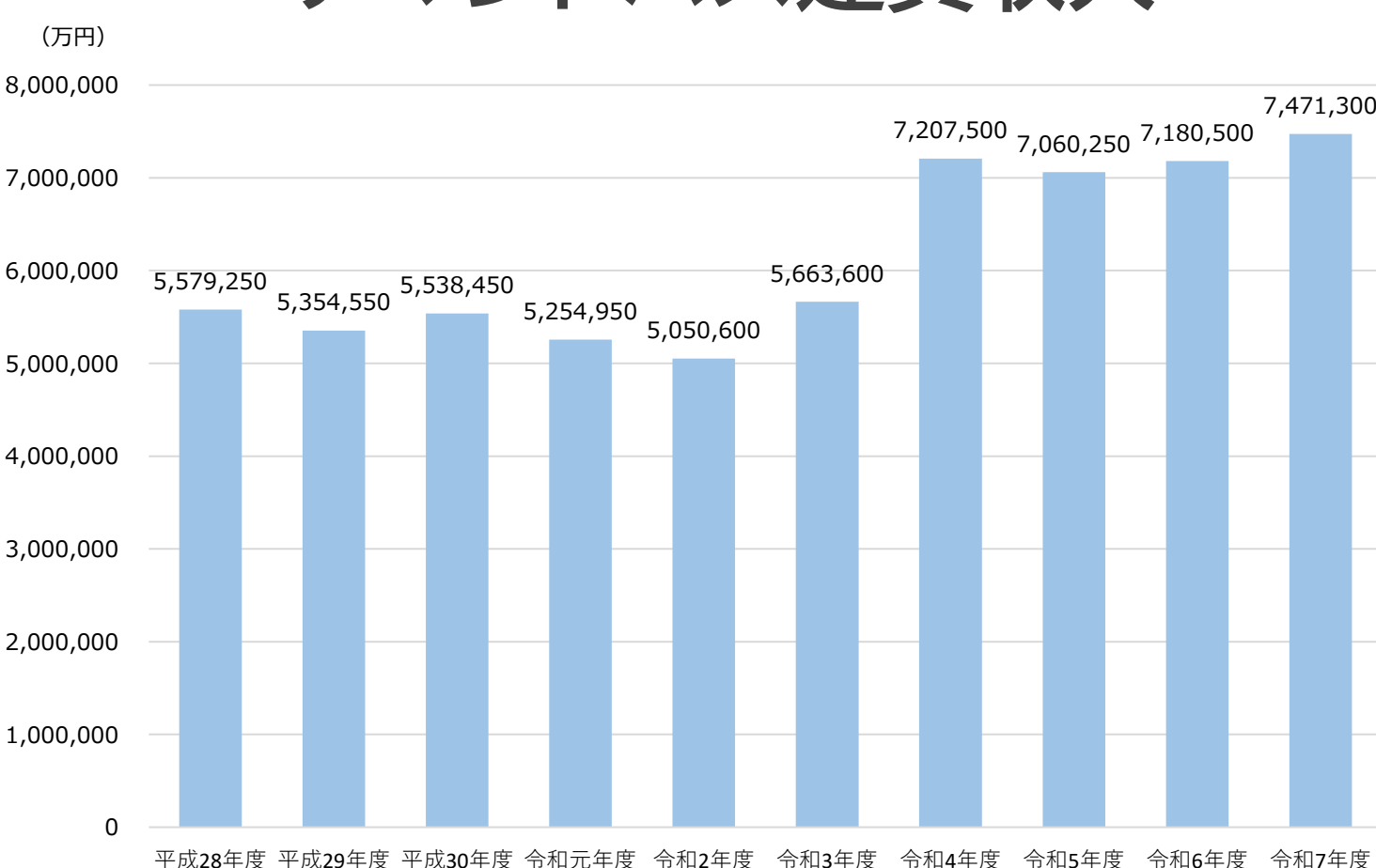
デマンドバスの利用者数・運賃収入

◆小学生や要介護者、免許返納者等を対象とした割引制度の拡充や市外の一部施設への運行範囲の拡大や利用料金の見直しを行い、近年は利用者数、運賃収入どちらも増加しています。

《デマンドバス利用者数》



《デマンドバス運賃収入》



【デマンドバス】

- 運行形態: 目的地間をドア・ツー・ドアで運行
- 利用可能な目的地: 指定の目的地(市内の病院・駅・公共施設・商業施設など)
- ※市外は埼玉県中央病院(桶川市)、埼玉脳神経外科病院(鴻巣市)のみ可
- 運行時間: 8時30分～17時30分(年中無休)
- 利用対象者: 誰でも利用可(市内在住・在勤・在学)
- 運賃: 500円



今後起こりうること…

高齢者等の交通弱者及び交通不便地域住民の移動手段を確保することを目的としてデマンドバスを運行しています。人口密度の低下により交通不便地域の拡大が懸念されます。

⇒利用者増加に向けた利便性と、効率的運行のための乗合率の向上が求められます。

公共交通を取り巻く社会の変化

◆今後の公共交通に関する取組として、近年では地域の住民が運転手を担い、買い物や病院などへの送迎を行う地域の支え合いによる移動サービスの運行が行われています。

《らくだ号(飯能市吾野地域)》

⇒吾野地区の住民が互いに支え合いながら、外出を助ける生活支援型の移動サービス

- 運行形態: 設定した場所を巡るコース型運行
- 運転手: 運転ボランティア
- 利用可能な目的地: 概ね吾野地区から片道25km圏内
- 運行時間: 9:00～16:00(平日のみ)
- 利用対象者: 吾野地域の住民
- 運賃: 300円



今後起こりうること…



高齢化の進行による交通弱者の増加や運転手不足によるバス路線の減便、廃止が行われることが想定されます。

⇒市民ニーズや社会情勢を踏まえて地域の支え合いによる移動サービス等の新たな交通手段の検討が求められています。



様々な課題に対処し、持続可能な公共交通を実現するために

地域公共交通計画を策定します！



■ 地域公共交通計画とは

「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」と、それを実現する具体的な施策・目標・実施体制を定める地域交通のマスタープランとなる計画です。



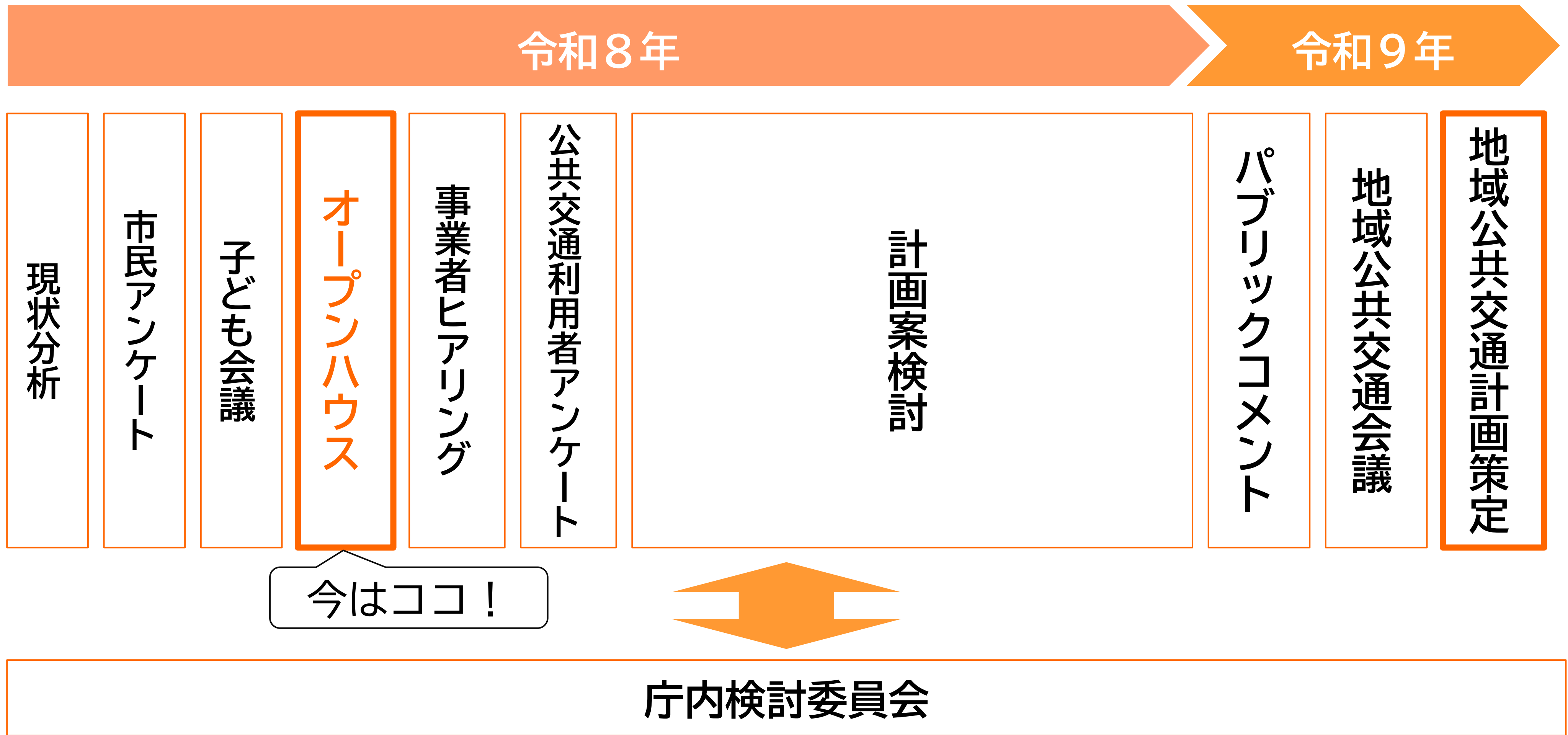
■ 北本市で策定する目的

- ◆通勤・通学・通院・買い物といった日常生活の移動手段の確保が大きな課題
- ◆運転免許証の自主返納が進み、自家用自動車を運転できない高齢者等の移動手段としての公共交通の重要性が増大
- ◆少子高齢化の進展や人々のライフスタイルの変化による公共交通利用者の減少
- ◆移動需要の減少、交通事業者の赤字の拡大・経営の悪化、それに伴う路線廃止によるサービス水準の低下により、さらに利用が減少する「負のスパイラル」への懸念



地域公共交通に関する取組を計画的に進め、限られた資源を有効活用し、持続可能な地域公共交通の形成を図る

■ 検討スケジュール



■ アンケート

Q. 路線バスの利用状況について1つ選び、シールを貼ってください。

路線バスを 月に数回以上利用する	
ほぼ利用しない・ 利用しない	

Q. 上の質問で「ほぼ利用しない・利用しない」と回答した方はお答えください。
利用しない理由について3つ選び、シールを貼ってください。

希望する目的地へ行くバス がないから	
利用する時刻にバスが走っ てないから	
運行本数が少ないから	
自宅の近くにバス停がない から	
運賃が高いから	
目的地までの所要時間が長 いから	
自家用車(送迎含む)で移動 するので必要ないから	
徒歩、自転車(バイク)で移動 するので必要ないから	
送迎バスを利用するので必 要ないから	
その他	

■ アンケート

Q. 今後の公共交通に関する取組として重要なものを3つ選び、シールを貼ってください。

	公共交通に関する取組
鉄道の維持、利便性向上に対する支援	
路線バスの維持、利便性向上に対する支援	
タクシーの維持、利便性向上に対する支援	
デマンドバスの維持、利便性向上	
コミュニティバスの運行	
タクシー利用運賃の補助	
民間送迎バス、福祉輸送等との連携	
シェアサイクルの活用、サイクルポートの設置、自転車走行ネットワークの整備	
自動運転の導入検討	
地域や住民相互による送迎ボランティア(互助輸送)の推進、支援	
安心安全な歩行環境の整備	
道路整備や交差点改良	
その他	

ご回答いただき、ありがとうございました